

八王子消化器病院ニュース

第 51 号

医療法人財団 中山会

八王子消化器病院

消化器病専門医療機関・東京女子医大関連病院

日本医療機能評価機構認定病院

〒192-0903 東京都八王子市万町 177-3

TEL : 042-626-5111

www.八王子消化器病院.com

制作 (株) 教育広報社

おおり

HACHIOJI DIGESTIVE DISEASE HOSPITAL NEWS



がん克服に向けて

2006年6月16日それから

八王子消化器病院 副院長 小池 伸定

梅雨明けを待ちかねていたかのように木々の緑が輝き溢れる夏の始まりです。今年の夏は猛暑が予想され、嚴重な熱中症対策が叫ばれるなか、8月にはブラジルのリオデジャネイロでオリンピックが開催されますが、日本選手の活躍に今から期待で胸が躍ります。球界では、本稿執筆中の6月16日にイチロー選手が日米通算 4,500 安打の偉業を成し遂げました。28年間積み重ねた記録に只々敬服するばかりです。皆様は彼が打席に立つ前の一連の動作を目にされたことがあると思います。いつも決まった動作を繰り返しています。このように意識的に同じ動作をすることをスポーツ心理学では「プレパフォーマンス・ルーティン」と呼び、安定した結果を生むことに寄与しているようです。更に彼は、起床、食事、睡眠等も決まった時間に行い、ルーティン化しています。成し遂げた記録も偉大ですが、この間の健康管理も並大抵の努力ではないでしょう。

◆がん対策基本法

それでは、私たちは日常生活の中でどのような健康管理をすれば良いのでしょうか。食生活の偏りを始めとして過度の飲酒、喫煙等は身体の負担になります。日本人の死因の1位は悪性新生物(がん)、2位は心疾

患そして3位は脳血管障害です。現在、国民の2人に1人が、がんに罹患し3人に1人が、がんで亡くなる時代となり、がんは国民病とさえ言われています。そのような状況のなか、10年前の2006年6月16日にがんの予防・早期発見のための「がん対策基本法」が成立しました。これは、ある隣がん患者のがん治療におけるドラッグ・ラグ(新薬承認の遅延)の訴えから始まりました。当時、欧米では隣がん治療にゲムシタピンという薬が使用されていましたが、我が国では同薬は肺がんの治療のみに限定されてきました。欧米では標準治療であるものが、我が国では認可されず治療を受けられないというタイム・ラグ(ドラッグ・ラグ)があったのです。そこで国内でも国際標準のがん治療を受けられるようにがん患者や、その家族が国に訴えた結果、同法の成立に至りました。その後、がん診療連携拠点病院の整備、腫瘍内科医の育成、早期発見・予防のための啓発活動等が推進されました。同法の基本理念には、「がん患者の置かれている状況に応じ、本人の意向を十分尊重して、がんの治療方法等が選択されるよう、がん医療を提供する体制の整備がなされること」とあります。ここから、

患者本位のがん治療が始まったのです。

◆がん検診率50%へ

同法では、がんの早期発見のための検診受診率の向上も大切な目標の1つです。厚労省の定める検診には、主要5大がんである「胃がん」「大腸がん」「肺がん」「子宮がん」「乳がん」が含まれます。胃がん検診は、バリウムによるレントゲン検査か内視鏡検査であり、大腸がん検診は便潜血検査が広く行われています。2007年の胃がん、大腸がんの受診率は、それぞれ33.8%、27.9%でしたが、2012年には45.8%、41.4%と上昇しています。厚労省の掲げる目標は、受診率50%ですので達成まであと一歩です。

この早期発見の努力に加えて、本年1月から全ての病院を対象にした「全国がん登録」が開始されました。本制度は、がんの予防策や治療技術の向上を目的に全国でがんを診断された人のデータを集計・分析・管理する仕組みです。罹患患者数だけでなく、病期(ステージ)も併せて把握できれば、がん予防・検診の効果が得られているか、地域の医療機関が充足しているかを判断できるようになります。「がんを予防するために何に気をつければ良いか」「検査はどの程度の間隔で受ければ良いか」等の患者様からの質問に的確にお答えし、その成果を評価できるようにするのは、実はこれからのことです。

当院は、全がん患者の40%強を占める食道、胃、大腸、肝臓、胆嚢、膵臓がんを診断・治療することができ消化器疾患の専門施設として、これからも地域の皆様の健康管理に注力し、がんの予防と治療に貢献していきます。

もっと知りたい!

身体 治療 のコト

超音波内視鏡検査 (EUS) EUS-INT

八王子消化器病院 消化器内科 医師 貝瀬 智子

超音波内視鏡 (EUS) は、内視鏡の先端に超音波検査装置が搭載された内視鏡です。これにより消化管の中から超音波をあて、周囲の臓器 (主に膵臓、胆嚢、胆管等) や消化管壁、血管、リンパ節の診断を行います。体表からの腹部超音波検査とは異なり、胃や腸内の空気、腹壁、腹腔の脂肪、骨が検査の妨げにならず目的の病変を近くから観察できるため、鮮明な超音波観察が可能となり、詳細な情報を得ることができます。また、通常の内視鏡検査では消化管の表面しか観察できませんが、超音波を用いることによって消化管腫瘍の内部組織の観察、潰瘍や腫瘍の深達度 (浸潤の深さ)、周囲臓器との位置関係、粘膜下腫瘍の位置や大きさなどを知ることができます。

《検査前準備》

検査前日の食事制限はなく、検査当日の朝食は朝 8 時まで済ませていただきます。当日の朝の服薬は可能で、血圧・心臓・喘息の薬は食事に関係なくいつも通りお飲みいただき、抗血小板薬や抗凝固薬 (血流を良くする薬) の休薬も必要ありません。

《意識下鎮静法》

超音波内視鏡は、上部消化管内視鏡に比べて先端が太く硬いため内視鏡が喉を通過する際の不快感は強くなります。また、検査時間は、約 10 ～ 30 分と長くなることから、当院では患者様の苦痛を和らげる目的で鎮静剤を使用し眠った状態で検査を行うので不快を感じることは少ないですが、鎮静剤が使用できない方や効果が乏しい方もおられます。また、食道や胃の手術を受けられたことのある方は、EUS 検査ができない場合もあります。

超音波内視鏡は、上部消化管内視鏡に比べて先端が太く硬いため内視鏡が喉を通過する際の不快感は強くなります。また、検査時間は、約 10 ～ 30 分と長くなることから、当院では患者様の苦痛を和らげる目的で鎮静剤を使用し眠った状態で検査を行うので不快を感じることは少ないですが、鎮静剤が使用できない方や効果が乏しい方もおられます。また、食道や胃の手術を受けられたことのある方は、EUS 検査ができない場合もあります。



(超音波内視鏡 (EUS) 検査)

《合併症 (検査によるリスク)》

主に消化管や咽頭の出血、消化管穿孔等
当院では、今までこれらの合併症が発生したことはありませんが、消化管の変形や検査時に身体が大きく動いてしまった場合は、合併症の可能性が高まります。その場合は、安全のため検査を途中で中止することがあります。

《EUS 検査の適応疾患》

食道、胃、十二指腸、大腸、膵臓、胆道等の腫瘍性病変 (良・悪性)
胆石・総胆管結石、慢性膵炎等
当院では、主に胆道・膵臓疾患に対する精密検査として行っています。

特に、腹部超音波検査や CT・MRI 検査で疑われた膵嚢胞性病変 (膵管内乳頭粘液性腫瘍、漿液性嚢胞腫瘍、粘液性嚢胞腫瘍等) や膵腫瘍性病変 (膵癌や膵神経内分泌腫瘍等)、胆道腫瘍 (胆嚢・胆管癌や胆嚢ポリープ) の良悪性診断、質的診断、周囲臓器や血管との浸潤度を検査しています。以前は、膵癌を疑う病変や膵管狭窄に対しては、内視鏡的逆行性膵管造影 (ERCP) を行っていました。しかし、急性膵炎を合併することがあるため、検査に際しては入院が必要でしたが、EUS は ERCP に比べて検査後膵炎の可能性は低いため、外来で行えます。なお、膵嚢胞性病変の中には、悪性化 (癌化) の可能性がある腫瘍性病変があることから、EUS 検査が必要となり、悪性化所見が認められると手術を検討することもあります。

《EUS を用いた最新の検査・治療方法》

平成 22 年 4 月から超音波内視鏡ガイド下穿刺 (EUS-FNA) が保険適応となりました。これにより従来、確定診断が困難であった病変に対して、超音波内視鏡を用いて消化管から穿刺し病変の一部組織を採取することで病理結果から質的診断をすることが可能になりました。また、胆膵疾患による胆管狭窄に伴う閉塞性黄疸に対する最新の治療法として EUS-FNA を用いた超音波内視鏡下胆道ドレナージがあります。これらは、新たに導入されたばかりの検査・治療方法で、消化器内視鏡分野の中でも非常に高度な技術を要します。そのため大学病院など一部の高次医療機関で行われるに留まり、当院では行っておりません。これらの検査・治療が必要または希望される患者様には、該当の医療機関をご紹介させていただきます。ただいております。

《最後に》

膵癌は、癌疾患の中でも 5 年生存率が極めて低い疾患であり、早期診断・治療が重要となります。そして、EUS は、その精密検査の 1 つとして位置づけられています。これからも患者様の健康の手助けになれるようにとの心構えを持って検査を行って参ります。



(超音波内視鏡の先端)

患者さまからドクターへ

51

早期発見万歳！
貴院への感謝の気持ちを込めて

羽村市 在住

野邊 耕造さん



毎年、私にとつての秋は貴院での検診の時節でもあり、昨年も胃カメラと一泊二日での大腸カメラによる検診を受けました。

二日目の朝、「これで無罪放免！」となる筈でしたが現実には厳しく、小池副院長から『胃が見つかつた。幸い早期発見なので内視鏡による切除が可能である』旨を告げられました。

先生のご説明を伺いながら「毎年検診を受けていて本当に良かった！」との思いが込み上げてきました。つい先頃も知人二人が胃の全摘手術を受けただけに安堵感さえ覚えました。

がんの告知から三日後、妻共々手術を担当していただく森下内科医長から手術の方法等について懇切な説明をいただき、いわば「大船に乗った気持ち」になりました。

内視鏡による手術は三〇分程で終了しました。先生から切除したばかりの肉塊を見せていただき「憎つき奴め！」と思いつつ、先生はじめスタッフの皆様に心から御礼を申し上げます。

入院期間は手術の前後を含めて九日間でしたが一言で申し上げますと、貴院が標榜されている「患者さま第一」の精神が皆様全員に行き渡り、どこにも引けを取らない素晴らしい病院運営がなされていることに敬服いたしました。

ここで、入院生活などを通じて感銘を受けた何点かについて触れさせていただきます。

◆ ヒューマンエラーの防止

治療、食事の際など、日に何回フルネームを名乗つたことでしょうか。配膳一つを間違え

ても事故につながりかねないだけに実に大切なことだと思えます。「仕事上の ABCD」へ A. 当たり前のことを B. ほんやりしないで (馬鹿にしないで) C. ちゃんとやるのが (仕事の) D. 出来る人」を徹底されていることに深い感動を覚えました。

◆ 挨拶と声掛けの励行

入院患者にとつて不安は尽きないものですが、朝の回診に始まり検温、配膳の際など、先生、看護師さんをはじめ皆様が積極的に声を掛けて下さり、安心感を得るとともに気持ちも和らぎました。とりわけ、看護師さんが交代の都度、一人ひとりの患者さんに名前を名乗つて挨拶されており、これほど心強いことはありませんでした。

◆ 清潔な環境整備の徹底

「洗面所 (トイレ、ベッド回り) の清掃をさせていただきます」との声で清掃が始まりました。手際よく迅速に、かつ丁寧に清掃していただき、また、定期的なタオル等の取り替え、蒸しタオルの配布、湯呑み茶碗の消毒など、きめ細かでありがた

◆ 貴院に限り院内感染の心配は無いことを確信いたしました。

貴院に限り院内感染の心配は無いことを確信いたしました。

◆ 心のこもった食事の提供

入院患者にとつて食べ物を口に出れることは大きな喜びの一つです。私自身、点滴から始まり、流動食、三分粥、五分粥、全粥、そして常食と「昇任」する中で三度の食事が本当に楽しみでした。

社会一般では、「病院食」＝「まずい、味気ない」という評価が少なからずありますが、貴院では良く考えられた献立の下に、料理の温度、盛り付けなどにも心配りがなされた食事が清潔な食堂で提供されました。

全国の病院のほぼ七割は外部委託の給食とのことですが、それだけに長い間、直営を守られてきたの認識の下に創意工夫を凝らして料理を作っていたにいたる皆様の努力には頭が下がります。また、退院の際には妻も同席の下、懇切な栄養指導をして下さり、安心して術後の生活を送ることが出来ました。

◆ ロビーコンサートの開催

二か月ごとに開催される「ロビーコンサート」は、一流の音楽家を招いての演奏、八王子芸妓衆の歌と踊り、また雅楽の演奏など多岐に亘り、加えて毎年末には職員の皆様による演奏や

コーラス盛沢山のクリスマスコンサートと、日々のご多忙な業務の中での開催に感謝しています。患者さんにとつても病氣回復の一助になっているのではないのでしょうか。

◆ 医療設備・先生方をはじめとしたスタッフの皆様が整った貴院で手術をしていただき、手厚い看護を受けて無事日常生活に復帰した今、より健康で充実した生活を送ることが出来るよう妻と手を携え合いながら日々努めています。また、健康面に無関心な知人に対しては、定期的な健診の重要性を訴えかけています。

三年前に「東京オリンピック」の開催が決まった際には五輪まで夫婦で元氣 誓い合いの心境でしたが、健康を取り戻していただいた今は

◆ 五輪まで

夫婦で元氣 誓い合い

の心境でしたが、健康を取り戻していただいた今は

◆ 喜寿迎え

米寿見上げて 気合入れ

と、いささか欲張つた心境に達しています。

「八王子消化器病院」の皆様、誠にありがとうございました。

ドクタープロフィール 2016

理事長 鈴木 衛 (すずき まもる)

専門分野：◎消化器外科 ◎大腸外科

東京女子医科大学 消化器外科元講師
昭和 51 年 三重大学医学部卒業

病院長 原田 信比古 (はらだ のぶひこ)

専門分野：◎消化器外科 ◎肝・胆・膵外科

東京女子医科大学 消化器外科元派遣助教授
昭和 60 年 宮崎医科大学卒業

副院長 小池 伸定 (こいけ のぶさだ)

専門分野：◎消化器外科 ◎肝・胆・膵外科

東京女子医科大学 消化器外科元助教
平成 6 年 徳島大学医学部卒業

顧問 林 恒男 (はやし つねお)

専門分野：◎消化器外科 ◎食道外科
◎消化器内視鏡検査・治療

東京女子医科大学 消化器外科元講師
昭和 44 年 千葉大学医学部卒業

顧問 今泉 俊秀 (いまいずみ としひで)

専門分野：◎消化器外科 ◎肝・胆・膵外科

東海大学 消化器外科学元教授/東海大学医学部付属東京病院
外科客員教授/聖マリアンナ医科大学 客員教授
昭和 45 年 札幌医科大学医学部卒業

顧問 武雄 康悦 (たけお やすよし)

専門分野：◎消化器内科

東京女子医科大学 消化器内科元助手
昭和 60 年 東邦大学医学部卒業

外科医長 梶 理史 (かじ さとし)

専門分野：◎消化器外科 ◎肝・胆・膵外科
◎緩和ケア

東京女子医科大学 消化器外科元助手
平成 8 年 福井医科大学卒業

外科医長 齋田 真 (さいだ しん)

専門分野：◎消化器外科 ◎腹腔鏡外科
◎がん化学療法

東京女子医科大学 消化器外科助教
平成 11 年 札幌医科大学卒業

内科医長 森下 慶一 (もりした けいいち)

専門分野：◎消化器内科
◎消化器内視鏡的診断処置

東京女子医科大学 消化器内科助教
平成 12 年 帝京大学医学部卒業

医師 福光 寛 (ふくみつ ひろし)

専門分野：◎消化器外科 ◎肝・胆・膵外科

東海大学 消化器外科助教
平成 11 年 東海大学医学部卒業

医師 尾崎 雄飛 (おざき ゆうひ)

専門分野：◎消化器外科

東北大学医学部 第二外科元医員
平成 15 年 埼玉医科大学医学部卒業

医師 齋藤 元伸 (さいとう もとのぶ)

専門分野：◎消化器外科

東京女子医科大学 第二外科助教
平成 18 年 北里大学医学部卒業

医師 貝瀬 智子 (かいせ ともこ)

専門分野：◎消化器内科

東京女子医科大学 消化器内科助教
平成 19 年 東京女子医科大学医学部卒業

医師 宮方 千春 (みやかた ちはる)

専門分野：◎消化器内科

東京女子医科大学 消化器内科助教
平成 19 年 東京女子医科大学医学部卒業

◎化学療法外来◎

医師：川上 和之

東京女子医科大学 化学療法
緩和ケア科准教授
昭和 62 年 金沢大学医学部卒業

◎生活習慣病外来◎
(リウマチ・痛風・膠原病)

医師：高木 香恵

東京女子医科大学 膠原病リウマチ
痛風センター講師
平成 4 年 東京女子医科大学卒業

◎糖尿病外来◎

医師：小田桐 玲子

東京女子医科大学 糖尿病センター
元講師/小田桐医院 院長
昭和 39 年 東京女子医科大学卒業

医師：雨宮 禎子

東京女子医科大学 糖尿病センター元講師
昭和 44 年 東京女子医科大学卒業/
同 48 年 大学院卒業

想うこと



おもしろうて やがて寂しき 花火かな

詠み人知らず

今年もまた、日本の夏の代表的風物詩のひとつ「花火」の季節がやってきました。

我国における花火の歴史では、1613年に徳川家康が見たという記録があります。当時は、魂の鎮魂という神事的色彩が強く、今日のような大衆娯楽としての花火は、8代將軍吉宗の時代に隅田川で水神祭を行った際に、両国橋周辺の料理屋が幕府の許可

により花火を上げたことが由来とされています。隅田川の花火は、毎年7月の最終土曜日とされ、雨天などの場合は翌日に延期となっていますが、今年31日(日)が都知事選挙のため順延がなく、30日(土)のみの「一発勝負」となっていました。

ドド〜ン パア〜 玉屋あ 鍵屋あ
それにつけても、どこまでも人騒がせな
前都知事ですな〜

理事 久野久夫